

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属) <http://www.tsukimoto.info>

月本たくや

レポート【第 17 号】



月本たくやレポート編集部 〒215-0031 川崎市麻生区栗平 1-5-32 ベアーズハイム 101
TEL : 044-986-6010 FAX : 044-986-6011 Email : mail@tsukimoto.info

川崎ウェディングから新たな成長へ

我が国の昔ながらの結婚式は、新郎新婦の応援団を作るために、地域のみなさまや親族に、夫婦になる2人を披露する場として開催されました。お披露目は、

- 1日目に地域の年輩のみなさま
- 2日目に親族
- 3日目に手伝ってくれた地域の方々に

と、3日間かけて結婚式を行ったそうです。そして、結婚式は、ご近所の人々の手を借りて行われました。

花嫁さんが、生まれ育った実家から嫁ぎ先へと、町内を練り歩く花嫁道中の光景は、我が国の文化であったことと思います。

そんな、花嫁さんを街で見かける素敵な文化が、今またあってもいいのではないかと思います。

共施設がたくさんあります。それぞれの施設の特徴を活かし、ニーズにあった様々な形の結婚式を挙げるポテンシャルを有しています。

とある自治体では、小学校の同級生同士で結婚するカップルが、母校の小学校で挙式した例もあるなど、様々なウェディング・スタイルの可能性が広がります。

目的外使用と税外収入獲得

私は、一昨年の質問で、市内公共施設を活用した税外収入の方策を提案しました。



さきほど挙げた公共施設はそもそも、結婚式を挙げるための施設ではありません。そこで、結婚式を挙げることは、そもそもの目的とは違った使用ですが、利用料を獲得でき、税外収入が見込まれます。

私の提案から一年半の時を経て、今年2月13日に行われた毎日映画コンクール表彰式では、ミューザ川崎シンフォニーホールでのホワイエでレセプションが開催されるという目的外使用が行われました。

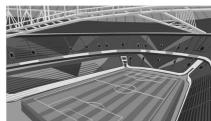
川崎ウェディング

一昨年の6月議会の一般質問において、私は市有施設の有効活用によるイメージアップと税外収入の獲得、そして経済効果の視点で、川崎ウェディング(川崎市市内の様々な公共施設等を活用した結婚式)を提案しました。



川崎の結婚式のポテンシャル

川崎市には、映像設備の整った川崎市アートセンター、フロンターレの本拠地である等々力陸上競技場、日本最大級のパイプオルガンのあるミューザ川崎シンフォニーホール、日本民家園やばら苑、岡本太郎美術館、プラネタリウムのある宙と緑の科学館などがある生田緑地など、魅力的な公



経済効果の期待

結婚式を挙げると、様々な産業への経済効果が期待できます。披露宴会場となるホテルやレストラン、遠方からの来賓への宿泊施設、新郎新婦の衣装、写真や動画の撮影、美容室など、結婚式を挙げることにより期待できる幅広い経済効果があります。



最近、川崎市内で、挙式するカップルが減ってきているといわれています。その理由は、結婚式を挙げないカップルが増加していることと、川崎市民で結婚する場合、東京や横浜に流れる傾向にあるようです。

そこで、川崎市で結婚式を挙げるメリットを高め、挙式数を増やすことは、地域経済への好循環をもたらせると期待できます。

アニバーサリーウェディング（記念日婚式）

川崎市は川崎区を除いた6区で、夜間人口比率が高いまちです。それは、このまちで家族を持ち、子供を産み育てる方々が多い地域ということを示しています。



その意味で、結婚式の開催数の増加という意味では、近年増加傾向にあるアニバーサリーウェディング（結婚後、何周年目かに結婚生活などを祝

て行う婚礼)にも大きな可能性があります。

アニバーサリーウェディングは、結婚するときに式を挙げなかったカップルはもちろんのこと、結婚生活の節目で式を挙げるケース、夫から妻へのプレゼントや子どもから両親へのプレゼントとして行われるケースもあります。

慣れ親しんだ地域の魅力が詰まった場所で、アニバーサリーウェディングをするのは素敵なことではないかと思います。

川崎ウェディング始動！

公共施設や公共の場所、地域イベント等の様々なポテンシャルを活かしたウェディングを進めるため、第一弾として、昨年より、民間の方々でしんゆりウェディング実行委員会が始動しました。

地域で祝福し、地域が元気になり、地域のイメージアップにつながる「川崎ウェディング」の実現は、川崎を元気にできる大きな可能性があり、地域活性に向けた新たな挑戦でもあります。

徳不孤必有鄰（徳は孤ならず必ず隣あり）・・・1月8日のブログより

「論語」にある言葉で、徳のある者は孤立することがなく、理解し助力する人が必ず現れるという意味です。政治家だけでなく、誰しも徳があれば時間が経っても周囲に理解者が現れ、増えて行きます。昨年5月に無所属になりましたが、無所属を選択するにあたり、この言葉が頭をよぎりました。正しいことをしていても認められなかったり、誤解されたりということはたくさんあります。しかし、評価されるから行動するのではなく、素晴らしい未来をつくるために行動するので、一時的に認められなかったり、誤解されたりということに恐れる必要はないと考えました。そして、この「徳は孤ならず必ず隣あり」という言葉を胸に進む決意をしました。半年以上を経て、私の想いを少しずつ理解して頂けるようになりました。今年は、午年の年男ですので、力強く駆け抜ける一年にして行きたいと思います。

インターネットでも情報発信中！



月本たくやホームページ

<http://www.tsukimoto.info>

ブログ、対談、これまでの月本たくやレポートなど適宜更新しています。



Facebook

アカウント名: 月本琢也

<https://www.facebook.com/takuya.tsukimoto>



Twitter

アカウント名: 月本たくや

[Twitter@Tsukimoto_Info](https://twitter.com/Tsukimoto_Info)

月本たくやプロフィール

昭和53年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。川崎市長 阿部孝夫 政務秘書、衆議院議員 山内康一 公設第二秘書（麻生区・国会担当）、みんなの党本部事務局（兼任）を経て、平成23年 川崎市議会議員初当選。みんな川崎市議会議員団長（交渉会派最年少）、川崎市農業委員（議会推薦）、議会運営委員、議会運営検討協議会委員等を経て、平成25年5月より無所属。現在 川崎市議会議員（麻生区選出、市民委員会） NPO 法人防災・防犯ネットワーク理事・麻生支部長 麻生区白鳥在住 家族：妻と共働き世帯

月本たくや政務調査事務所

麻生区栗平1-5-32 ベアーズハイム101号
TEL 044(986)6010 FAX 044(986)6011

月本たくや

検索

